



PINK PINKLINE

ピンク★ピンク★ライン

SPECIAL APPEARANCES BY



★ Jason Priestly ★ Jennifer Aniston ★ Nora Dunn ★ Tate Donovan

★ Andrea Bendawald ★ Jeneane Garafalo ★ Maura Tierney ★ Illeana Douglas



★ Maura Tierney ★ Illeana Douglas

AND INCLUDING



★ Christine Elise ★ Molly Shannon ★ Andy Richter ★ Will Ferrell ★ Laura Kightlinger ★ Melanie Hutsell ★ Margaret Cho

PARTHENON ENTERTAINMENT Presents a JOE DIETL and MICHAEL IRPINO Film "THE THIN PINK LINE"
music by BARRY COFFING costumes RODNEY MUNOZ executive producer ROBERT M. ROSSINI
music supervisor K.C. AICIAGA editor NICHOLAS ELIPOPOULOS produced by BRETT NEIMEROFF, BOB J. ROSSINI
director of photography ALEX VEHLEER post supervisor LISA PERNATO produced, written, and directed by JOE DIETL and MICHAEL IRPINO

2004年9月10日★ 日本テレビ放送網株式会社



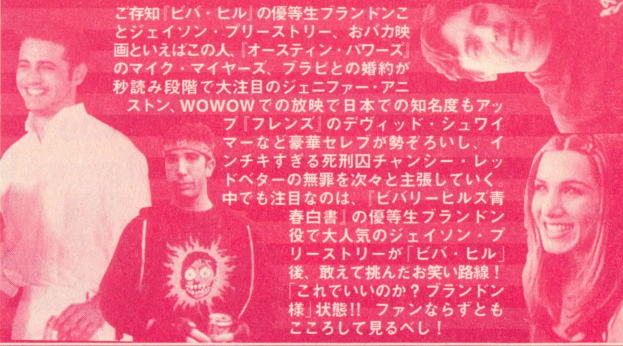
ピンク★ピンク★ライン

ナゾのカリスマ死刑囚チャンシーの、★インチキ★ドキュメンタリー登場!

1983年アメリカ。全米高校生合唱大会の会場で担当教師を殺害したとして死刑宣告を受けたチャンシー・レッドベター。だが本人は断固として無罪だと言い張っている! そんなチャンシーの死刑執行日が近づく中、ドキュメンタリー映画監督のロイスは、チャンシーの罪を晴らすと、なんとか(インチキでもいいから)映画を完成させるべく取材に苦戦! 果たしてチャンシーのホントウの狙いは???

チャンシーを知る5の手がかり [チャンシー・レッドベター プロフィール]
1.いつもピンクのスカーフを首に巻いてる。2.ダンスがとっても上手。投獄中にも振付け指導中!
3.とってもホモっぴいのに、かわいい奥さんも子供もいる。4.あくまでも犯人くさいのに、無罪だと周りの人に思わせる人望がある。5.ビレッジ・ヒールがたむろするようなオカマバーの「ひしょ濡れ下着コンテスト」で1位になったことがある。

豪華すぎるセレブ揃いのキャスト。なぜこのキャスティングが可能になったのか??



ご存知「ビバ・ヒル」の優等生ブランドンことジェイソン・フリーストリー、おハカ映画といえはこの人。「オースティン・パワーズ」のマイク・マイヤース、フラビとの婚約が秒読み段階で大注目のジェニファー・アニストン、WOWOWでの放映で日本での知名度もアップ「フレンズ」のデヴィッド・シュワイマーなど豪華セレブが勢ぞろいし、インチキすぎる死刑囚チャンシー・レッドベターの無罪を次々と主張していく中でも注目なのは、「ビバリーヒルズ青春白書」の優等生ブランドン役で大人気のジェイソン・フリーストリーが「ビバ・ヒル」後、取って代ったお笑い路線! 「これでいいのか? ブランドン様」状態!! ファンならずともころして見るべし!

さあ、あなたは何人知ってるかな? ちなみに市長役のオジサンは、「アリー・マイラブ」の第1話で、新人弁護士アリー(カリスタ・ブロックハート)にセクハラした上司のあの人です〜と、こんな調子で、NHK-BSやWOWOWでドラマをチェックしてる人、アメリカに住んでいて向こうのドラマに詳しい人、などなど、「あ! この人は!!!」を発見する楽しさをもっとしおの豪華キャストは要チェック!

ブランドンこと、ジェイソン・フリーストリーの気になる最近の動向
アメリカでの「ビバ・ヒル」放送もついに最終回を迎えた超・長寿TVドラマ「ビバ・ヒル」のブランドン様で親しまれたジェイソン・フリーストリー、つい先日(6/10)まで、ロンドン・アポロシアターでトニー賞受賞の舞台「サイド・マン」の主役、クリフォードを演じ、ロンドンっ子に大好評! ステージアには毎晩、ブランドン・ファンやロンドン娘たちが押し寄せ、大騒ぎ。そんな中、妻と別居中で傷心のジェイソンにもロンドンのTVスターとの恋の噂が…現在はバンクーバーをベースに、映画監督、舞台俳優、もちろん映画スターとして、NY-LA-ロンドンで幅広く活躍中だ。実際のジェイソンはすこく陽気でハイ・テンションなアンちゃん風。「え? 僕って日本で人気なの?!!」と素直に驚く表情に優等生ブランドン・スマイル健在!

ハリウッドのインディペンデント感&アメリカン・カルチャーのにおいブンブン漂つて、共犯者のチャンシーとロイスの素性とは?

★マイケル・イルビーノ [チャンシー役&監督]
イリノイ州シカゴ生まれ。ユタヤ系の多い北部郊外スコーキーに育った。3人兄弟の長男で、弟たちは、アンソニー(弁護士ながら非常に愉快)、ドミニク(自由時間にはカヤックを楽しむビジネス・アナリスト)、ジョナサン(定かではないが、ワシントンのカトリック大学に通っている。そう、彼らはイタリア系だ。父はトラックの運転手を、そして母はマイケルのピアノ授業料と歯列矯正費用を支払うために家政婦として身を粉にしての専業主婦)。本作品でチャンシーが晴れてハリウッドデビューした今、そんな父は他界し、母は現在モートン・クロウ・パーク・デストロリクで接客スーパーバイザーをしながら、余暇には看護婦を務めている。「ピンク・ピンク・ライン」を手がける以前のマイケルとジョーは俳優としてかろうじて生き延びていた。

★ジョー・ディートル [ロイス・キャンノン役&監督]
カリフォルニア州オレンジ郡生まれ。彼の父ボブは石油精製所経営から最近引退し、アニタはカリフォルニア州セリトスのトレイシー・インファント・センターの秘書。余暇にボブはユーモラスな詩を作り、アニタは石に動物の面を描いている。彼の兄ボブは製造会社の現場監督で、もう一人の兄リッチは編集助手でありサーファー。ジョーのユーモアセンスは両親といじめっ子の兄二人から受け継いだとされている。「ピンク・ピンク・ライン」はこんなインディなふたりが作った、ハリウッドの裏側を暴くとってもインチキなストーリー。

「不謹慎で、あつかましくて、ワンダフル!」

「インチキ・ドキュメンタリーを冷ややかにコキ下ろし、ゲイ文化を串刺しにし、国家体制を批判、ダンス・ワールドとハリウッドにまつわるこちゃこちゃ感を全部ひっくり返したような映画! 勢ぞろいしたセレブだけでも見る価値がある。」
米アクスハリウッド誌
米エキストラ誌

「陽気でもとってもダークに笑える1本!」

「拝啓、ブランドン様。こんな役でいいんですか?」
米ヴァエティ誌
「ビバ!」ファン

監督:マイケル・イルビーノ、ジョー・ディートル 出演:ジェイソン・フリーストリー/マイク・マイヤース/ジェニファー・アニストン/デヴィッド・シュワイマー/ジョー・ラファロ/リアーナ・ダグラスなど豪華セレブ総出演! 何人知ってるかな?
1999年/アメリカ/カラー/ヴィスタ/1時間46分/配給:ハルコ+東京テアトル

12月2日(土)~15日(金)レイトショー★連日PM8:55~

パラダイスシネマ 06 (6282) 1460
心斎橋アメリカ村BIG STEP 4F

◆前売券¥1400発売中!!◆
劇場窓口、チケットぴあ、ローソンや市内プレイガイドなどでお求め下さい。